

意見が出せる環境づくり 時代に合った雇用条件

霧氷気はその人たちでしか出せないものです。他店との差別化はそこでしかできないと考えています。来店されたお客様が「この店、楽しかったわ」と毎回思ってもらえるサロンづくりを目指しています。



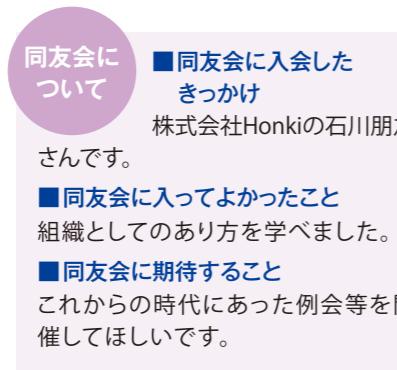
女性を対象とした「髪質改善とカラーの専門店」(大阪)。会話をしないことで双方の負担を軽減

店内の上下関係もあまりなく、どんなスタッフでも意見が言える環境を作りたいと考えています。雇われているだけになると、考えることをやめてしまうからです。京都店は脱毛をメニューに入れたいという企画を出

「組織化」を目指します。平均年齢が25～26歳という若い集団ですが、今後の会社の成長は「幹部の育成」にかかるとして思っています。どのように進めていくのか、それが今年の大きな課題です。



草津市笠山1-7-37-4
TEL:090-6906-9645



組織化・幹部の育成 積極的な店舗展開を

客さまが相談しやすい体制を整えてきました。

また、それぞれの店舗での空間づくりや居心地の良さも追求しています。店舗スタッフは基本的に5人まで。それ以上になるとスタッフの統率を取るのが難しくなり、お客様に対応も目指すものではなくなる可能性があります。美容師としての技術はさておき、ここでもできま

客さまが相談しやすい体制を整えてきました。また、それぞれの店舗での空間づくりや居心地の良さも追求しています。店舗スタッフは基本的に5人まで。それ以上になるとスタッフの統率を取るのが難しくなり、お客様と対応も目指すものではなくなる可能性があります。美容師としての技術は他を見て学ぶことができますが、その店のスタッフたちが作る雰囲気は、その人たちでしか出せないものです。他店との差別化はそこでしかできないと考え

会話にはいろいろなリスクもあります。求人募集では、カウンセリング以外の会話不要と明記し働く側にも配慮しています。

籍をご覧になることができ、好きなタイミングでお帰りいただけた店舗です。あえて会話をしないことで、お客さまはもちろんスタッフも気疲れにくくなっています。美容師にとって、仕事で負担になることの一つが、年齢の離れたお客さまとの会話です。

してきたので、実現しました。若いスタッフたちがこれから年齢を重ね、やりたいことを見つけるかもしれません。そのとき、出資することも考えたいですね。自分で考え、どうしたらうまくいくかを考える環境であれば、そういう夢も広がります。それを実現できる会社でありたいと



株式会社 MIO

近隣に大学がある絶好のロケーションに位置するメンズ専門美容室Mio”。株式会社Mio代表取締役社長の本田哲也さん（滋賀県中小企業家同友会大津支部）を取材しました。

〔取材／有限会社ウエスト
2025年3月6日〕

2016年に2人で開業
6店舗まで拡大

して います



「メンズ専門サロン」
特化戦略で躍進

ここ2年で多店舗展開され
本田 最初に立ち上げたのは、
ここ南草津の店舗です。相方の
おばあさんが美容院をしていた
店舗を改築させていただき、ス
タートしました。しかし、集客に
悩み、メンズ専門店にコンセプト
を切り替えてPRすると、多く
の支持を得ました。近年はメン
ズ専門店が注目されていますが、
当時はまだ少なかつたと思います
。今でも売上の8割が地元の
大学生となっています。以来、最
新トレンドに対応できる20代の
男性スタッフを中心に置き、お

ここ2年で多店舗展開されて
いますが、人気の理由とは
本田 最初に立ち上げたのは、
ここ南草津の店舗です。相方の
うばろうとして、美容院を



滋賀県では令和七年度の新規実施事業として、「若年層等確保定着支援事業」が実施されることになりました。

具体的なメニューは、①「奨学金返還支援」（企業が若手従業員の奨学金返還に際し負担軽減のために支出した額への助成）と、②「スキルアップ支援」（企業が従業員のDX・GXにかかる資格取得に際し手当として支出した額等への助成）の二つとなります。

「奨学金返還支援」の補助対象は、令和七年四月一日以降に採用した従業員で、県内事業所に勤務する35歳未満の従業員に対する奨学金返還支援に係る、二従業員が受給した奨学金を企業が代理変換するた

めに要した費用。補助率は1/2で、補助限度額は一人当たり九万円／年※一社あたり最大五人となっています。

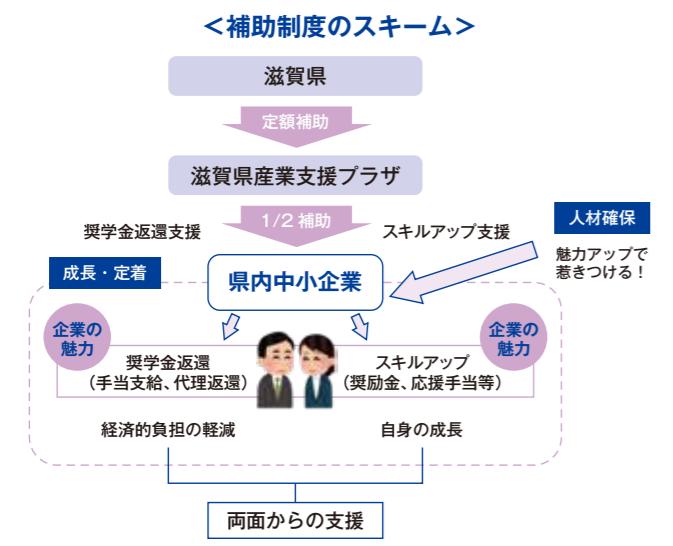
滋賀同友会では「二〇一八年の要望と提案」（二〇一七年一〇月に県へ提出以下「要望と提案」）に「中小企業向けの奨学金返還支援制度を設けること」を提案し、同年には「中小企業と「奨学金」問題についてのアンケート」を行い、プレスリリースしました。また政策委員会では「支援規定モデル」を作成して会員へ提供するなど、会の内外へ制度の必要性とともに、実務的取り組んでいます。奨学金制度の実施をめざして、滋賀同友会では毎年「要望と提案」に制度の実施を掲げ、知事及び商工観労働部長へ提言し、県議会各会派へも

その後も滋賀同友会では毎年「要望と提案」に制度の実施をめざして、滋賀で働く企業を増やす

中小企業向けの要望と提案が実現！

奨学金返還支援制度始まる

滋賀同友会の要望と提案が実現！



2025年度 役員ご紹介 (代表理事以外、敬称略、順不同)

